

【添付書類】

1 法人にあってはその登記事項証明書
別添のとおり

2 主として販売する物品の種類

小売業を行う者の氏名(名称)	主として販売する物品の種類
生活協同組合ユークoop	総合
ウエルシア薬局株式会社	住・生活関連品

3 建物の位置及びその建物内の小売業を行うための店舗の用に供される部分の配置を示す図面
別添 図面3-2 建物配置図及び1階平面図(変更後)のとおり

4 必要な駐車場の収容台数を算出するための来客の自動車の台数等の予測の結果及びその算出根拠
【指針による算出】

	事項等	必要駐車台数等	各事項算出のための計算式等
店舗 の 来 客 者	地区の区分	その他地区	第一種住居地域
	S:店舗面積	2,561 千 m ²	2,561 m ²
	A:店舗面積当たり 日来店客数原単位	1,023 人/千 m ²	人口40万人未満 (店舗面積10,000m ² 未満) (海老名市人口 令和 7年 8月 1日 141,440人)
	B:ピーク率	14.4%	指針の基準値
	L:駅からの距離	1,200m	(駅名:小田急小田原線 座間駅)
	C:自動車分担率	70%	人口 10 万人以上 40 万人未満、その他地区
	D:平均乗車人員	2.0 人/台	店舗面積 10,000 m ² 未満
	E:平均駐車時間係数	0.735	店舗面積 10,000 m ² 未満(小数点第 4 位切り上げ)
F:必要駐車台数	98 台	$A \times S \times B \times C \div D \times E$ (小数点以下切り上げ)	
その 他 の 施 設 等 の 利 用 者	従業員通勤車両用	0 台	専用駐車場を 39 台確保
	搬出入車両用	0 台	別途荷さばき施設を確保
	併設施設の車両用	0 台	併設施設はございません
	その他	0 台	なし
	G:その他の施設等必要 駐車台数計	0 台	
必要駐車台数合計		98 台	F+G
届出収容台数合計		103 台	

上記より、3日間の駐車場利用実態における最大在庫台数となったのは、令和7年6月20日(金)の10:45～11:00における84台となりました。

次に令和6年7月～令和7年6月までのレジ通過客数をもととする月別の比率を以下に示します。

	令和6年						令和7年					
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
来客比率	97%	103%	99%	97%	98%	104%	98%	102%	99%	98%	98%	100%

上記より、駐車場利用実態調査の実施月を100%とした場合、最大となったのは令和6年12月の104%でした。

更に、令和6年12月において、令和7年6月20日(金)のレジ通過客数を100%とした場合の日別の比率を以下に示します。

令和6年12月						
1日(日)	2日(月)	3日(火)	4日(水)	5日(木)	6日(金)	7日(土)
109%	105%	88%	93%	97%	82%	96%
8日(日)	9日(月)	10日(火)	11日(水)	12日(木)	13日(金)	14日(土)
100%	101%	93%	95%	98%	82%	96%
15日(日)	16日(月)	17日(火)	18日(水)	19日(木)	20日(金)	21日(土)
109%	102%	90%	102%	93%	102%	104%
22日(日)	23日(月)	24日(火)	25日(水)	26日(木)	27日(金)	28日(土)
108%	105%	108%	112%	101%	101%	111%
29日(日)	30日(月)	31日(火)				
123%	116%	118%				

上記より、令和6年12月29日(日)が最大となり、調査日令和7年6月20日(金)に比して、1.23倍の来客数であったことから、年間通じての最大在庫台数は103台(84台×1.23)であると考えられます。

また、変更後における来客用の駐車場は103台を確保する計画としているため、充足されると考えます。

5 駐車場の自動車の出入口の形式又は来客の自動車の方向別台数の予測の結果等駐車場の自動車の出入口の数及び位置を設定するために必要な事項

(1) 年間の平均的な休祭日のピーク1時間に予想される来客者等の自動車の方向別台数の算出

項目		利用実態に基づく 自動車来台数(台)	算出根拠等
店舗の来客車両		193 台	ピーク:令和6年12月29日(日)16時台 理由:駐車場利用実態調査に基づき157台(令和7年6月22日(日)16時台)×123%(年間ピーク率)=193.11台
用者 その 他の 施設 等の 利	従業員通勤車両	0	ピーク時間帯を避けた通勤とします。
	業務用車両	0	ピーク時間帯を避けた運行とします。
	搬出入車両	0	荷さばき車両は来客用出入口と共用しますがピーク時間を避けた運用を行います。
	併設施設の車両	0	併設施設はありません。
	その他	0	なし
合計		193 台	—
駐 車 場 入 口	入口①	69 台	各入口の入出庫台数は、駐車場利用実態調査に基づく結果による。「令和7年6月22日(日)16時台」の123%(年間ピーク率)より 入口①:56台×123%=68.88台 入口②:101台×123%=124.23台
	入口②	124 台	
	合計	193 台	—

(2) 駐車場の自動車の入口の形式

①年間の平均的な休祭日のピーク1時間における駐車場の入口の入庫処理能力

駐車場入口	予測来台数(台)	入庫処理能力 (台/h)	入庫処理能力算出のための計算式等
入口①	69 台	450	3,600(秒)÷8(秒/台)=450(台/h)
入口②	124 台		
合計	193 台	—	—

※駐車場入庫ゲートの設置はないため、指針の参考値で示されている、処理能力8秒/台を適用しました。

②敷地内駐車待ちスペース

駐車場入口	駐車待ちスペース (m)	必要な駐車待ちスペース	
		長さ(m)	算出根拠
入口①	0	0	$[(69 \div 60) \times 1.6 - (450 \div 60)] \times 6 = -33.96$
入口②	0	0	$[(124 \div 60) \times 1.6 - (450 \div 60)] \times 6 = -25.16$

- 6 来客の自動車を駐車場に案内する経路及び方法
※今回の変更計画に伴う変更はありません。
- 7 荷さばき施設において商品の搬出入を行うための自動車の台数及び荷さばきを行う時間帯
※今回の変更計画に伴う変更はありません。
- 8 遮音壁を設置する場合にあつては、その位置及び高さを示す図面
※今回の変更計画に伴う変更はありません。
遮音壁の設置はありません。
- 9 冷却塔、冷暖房設備の室外機又は送風機を設置する場合にあつては、それらの稼働時間帯及び位置を示す図面
※今回の変更計画に伴う変更はありません。
- 10 平均的な状況を呈する日における等価騒音レベルの予測の結果及びその算出根拠
※今回の変更計画に伴う変更はありません。
- 11 夜間において大規模小売店舗の施設の運営に伴い騒音が発生することが見込まれる場合にあつては、その騒音の発生源ごとの騒音レベルの最大値の予測の結果及びその算出根拠
※今回の変更計画に伴う変更はありません。
- 12 必要な廃棄物等の保管施設の容量を算出するための廃棄物等の排出量等の予測の結果及びその算出根拠
※今回の変更計画に伴う変更はありません。